

登録コード	F3A52120	開講年度	2026			
授業科目	CAD実習			担当教員	吉田 宏昭	
英文授業名	Introduction of CAD System			副担当		
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・3時限 月曜・4時限	対象学生
講義室	繊維2 8 番講義室		授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】		
	2 5 Fカリ・先進感性					
	【2023年度以降カリキュラム対象】モノづくりの基本である「工学的アプローチ」能力および自然科学、人文科学、社会科学を横断的に取り込める能力			モノづくりの基本である「工学的アプローチ」能力および自然科学、人文科学、社会科学を横断的に取り込める能力を会得できるようになる		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	前半は、二次元CADを用いて、JISに規定された基本的な機械製図を通して、機械の図面を読み、図面の正しい表現技術を身につける。 後半は、三次元CADを用いて、日常生活で使用する製品を具体的に設計デザインする演習を行う。					
(5)授業計画	100分授業で実施します。 SolidWorksを用いて、CADについて学んでいく。 詳細なスケジュールは、第1回目の授業時に配布する。 学期最後の授業において、最後の15 分は授業アンケートに回答するための時間とする。 第1回目は、機械製図の基礎的事項に関する講義も行う。 前半（第1回～第5回） 二次元CADによるJISに規定された機械製図 後半（第6回～第14回） 三次元CADによる日常生活で使用する製品デザイン					
(6)成績評価の方法	提出された課題によって評価する。					
(7)成績評価の基準	秀： 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優： 授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良： 授業の達成目標の水準よりやや上にある 可： 授業の達成目標の水準にある 不可（D）： 授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可（F）： 授業の達成目標の水準にない					
(8)事前事後学習の内容	この授業は90時間の学修を必要とする。従って、30時間以上の時間外学習が必要となる。 授業中に課題が終わらなかった場合、大学構内で事後学習を行うこと。					
(9)履修上の注意	履修する授業の全ての回に出席することを基本とする。 課題の締め切りを厳守すること。					
(10)質問、相談への対応	授業時間や授業後などで対応する。					
(11)学生へのメッセージ	機械製図は、技術者の言葉であり、コミュニケーションツールである。ものづくりをする際に、図面の読み方や書き方を知ることが重要であり、三次元CADは現在ものづくりに欠かせない道具になりつつある。その基礎をしっかりと習得してほしい。					
(12)その他	特になし					
【教科書】	SolidWorksによる 3 次元 C A D、門脇重道ら、実教出版					
【参考書】	新編JIS機械製図(第 4 版)、吉沢武男・堀幸夫著、森北出版 初心者のための機械製図 第 3 版、藤本元ら、森北出版					